



よみ たん そん
 日本一人口の多い村 **読谷村**
 人口41,793人 (令和3年12月末)

88号 2021年12月
 定例会

議会だより



★議会に一言★



セーラの森公園に
 バスケットリング
 をたててほしい

たから あいと
 題字：高良 藍斗
 (読谷小学校4年生)

繊細な剪定作業をする玉城義雄会長

撮影：読谷村盆栽同好会

主な内容

- ◎補正予算及び議決結果……………p 2
- ◎委員会報告……………p 4
- ◎一般質問……………p 6
- ◎意見書・決議……………p15



▲Youtube 動画配信中!

補正予算ここに注目!!

◆高齢者等情報配信機能強化事業 3689万円。

本村の75歳以上の高齢者のみ世帯（1840世帯）と障がい者手帳の交付世帯（163世帯）へ防災ラジオを貸与する。



▲防災ラジオ

◆読谷村水道事業会計補正予算より 1375万8千円

村内事業者（1200件）の水道基本料金（2095円×5ヵ月）の免除。
補助金は一般会計からの繰入です。

◆18歳以下への10万円の給付

◆低所得者の子育て世帯生活支援事業740万円

◆読谷高等学校ラグビー部を花園へ送る会寄付金 100万円

◆ふるさとづくり基金積立金 1億7000万円

◆古堅南小学校校舎新增改築事業 3億8610万2千円

現校舎の解体に係る工事請負費など

◆伊良皆地区水辺環境保全事業 470万円

（上ヌカー）への流入排水路の改良工事

◆公営住宅事務事業 1011万7千円

村営瀬名波団地の新たな駐車場整備費など

◆文化財産維持管理事業 2772万円

大湾アガリヌウガン遺跡地の

駐車場用地購入費



▲地元要望が実現した上ヌカー

令和3年 第513回 定例会 議決結果		令和3年12月16日
議案番号	件名	議決結果
42	令和3年度読谷村一般会計補正予算（第4号）	可 決
43	令和3年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
44	令和3年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決
46	読谷村個人情報保護条例の一部を改正する条例	可 決
47	読谷村国民健康保険条例の一部を改正する条例	可 決
48	読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可 決
49	読谷村下水道条例の一部を改正する条例	可 決
50	読谷村議会議員及び読谷村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	可 決
51	物品供給（令和3年度学校給食調理場給食配送車両購入）契約について	可 決
52	物品供給（令和3年度学校給食調理場物品購入）契約について	可 決
53	物品供給（読谷村文化センター音響設備購入）契約について	可 決
意見書 第13号	軽石の大量漂流・漂着に関する意見書	可 決

議案第49号 読谷村下水道条例の一部を
改正する条例 ※詳細は4頁参照

賛成多数で可決!



反対 山城正輝

コロナ禍の村民収入の減少、先行き不透明感の最中における下水道料金の一部村民への負担増につながる値上げに反対する

賛成 大城行治

今後の安定的な事業継続に多大な支出見込みがあることと、基本的に事業運営費用の受益者負担の観点から賛成する



議案49号「読谷村下水道条例の一部を改正する条例について」付託の建設経済常任委員会より審査の報告

本条例の主な改正内容は、下水道の使用料の改定であり、具体的には、一般用8立方メートルまでを450円から490円に、営業用10立方メートルまでを750円から800円に、官公署用12立方メートルまでを750円から800円に、臨時用8立方メートルまでを1,000円から1,150円にそれぞれ改定するもので、全体としての改定率は15.3%となっています。

また、施行日は、周知期間を考慮し令和4年6月1日からとするものです。下水道事業会計は、これまで主に国、県からの補助金と一般会計から繰入で運営されてきましたが、今後は、公営企業事業として独立採算制の原則に基づいた経営が求められます。

本村の下水道料金は、令和2年12月時点で20^mあたり月額（税込）1,287円となっており、これは国が下水道事業の安定化のために指導している月額3,000円を大きく下回るとともに、県内市町村の平均値（1,508円）をも下回っています。

下水道事業は道路や公園などの公共の施設とは異なり、整備される地域に限られ、利用出来る方も特定される公共事業です。そのため、公共下水道の受益者が応分の負担をし、負担の公平性を図りつつ将来にわたって持続可能な下水道事業とすることが必要となります。

そのため、本村においては令和2年度に読谷村下水道事業経営戦略を策定しており、今回の料金改定もそれに基づいて行われるものです。

今回の下水道料金の改定にあたっては、村長より読谷村上下水道事業審議会に諮問。

読谷村上下水道事業審議会からの答申を尊重し、答申に添えられた5つの付帯意見に充分留意しつつ健全な下水道経営の実現に向け鋭意取り組むよう要望を行いました。

本委員会は、令和3年12月9日に委員全員参加のもと討論と表決を行い、議案第49号は全会一致で原案どおり可決するものと決しました。

調査事件「障害者の現状と課題について」

令和3年1月14日から令和3年11月5日の間、9回の委員会を開催し、担当課や参考人からの意見聴取や、現場視察を行いましたので報告します。

◎読谷村第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を趣旨とし、サービス提供や基盤整備等を含めた生活支援策に関する具体的な数値目標を定めた実施計画「障がい福祉計画」を軸としている。

◎第3次読谷村障がい者計画の基本的な考え方

- ・村民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、「あるがまま」でともに暮らす社会。
- ・障がい者の権利擁護の視点・*¹ ノーマライゼーションの視点・関係者による協働の視点。

◎第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の現状と課題

「読谷村地域支援協議会」は、行政を中心に親の会・商工会・福祉サービス事業者・自治会等及び「5専門部会」で構成。

◎障がい福祉

村独自の事業として「障害者雇用促進事業」を令和2年度より一般社団法人うちなーからは一（読谷からは一）で就労支援の充実に努めている。また、農業の労働力不足を、同じように社会的課題とされる障がい者の雇用に結びつける農福連携も進んでいる。また、障害者雇用の課題として、*² B型から就職へ移行したがない現状がある。理由は、責任の重さや、簡単に休めないことなどがあげられた。家族としても無理をさせたくないとのことで、B型どまりで安心したいという意見があった。また、障がい者福祉の課題として、全国・全県的にも計画相談員のなり手不足が挙げられた。委員からは、計画相談員の充実強化の意見があった。

◎障がい児支援の提供体制の整備等について

- ・重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センター機能を令和5年度中に設置。
- ・主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所は、7事業所立地。
- ・医療的ケア児支援のための関係機関の協議の設置は、村地域自立支援協議会の中に令和4年度中に協議の場を設置し、医療的ケア児に関するコーディネーターを令和4年以降、1人設置することを目指す。
- ・発達障がい者に対する支援（活動指標）を9名の*³ペアレントメンターに依頼し、発達障がい者等に対する支援活動に取り組む。

※ 1 「ノーマライゼーション」障がいを持つ人も健常者同様に生活する社会を実現させる考え。

※ 2 「B型」就労継続支援B型のことで、障がいのある方が一般企業への就職が困難な場合に、雇用契約を結ばないで就労訓練を行う福祉サービス。

※ 3 「ペアレントメンター」発達障害のある子育てを経験した親が、同じ立場での相談相手になる人。

地域振興センターに設置された温水洗浄便座



ながはま むねのり
長濱 宗則

読谷村の公共施設における温水洗浄便座の設置について

- 問** 村内の小中学校の設置状況は
- 答** 渡慶次小学校体育館2基、古堅小学校6基、読谷中学校3基、残り4校未設置。
- 問** 本庁、自治会、指定管理施設の状況
- 答** 役場庁舎4基、自治公民館27基、指定管理施設13施設で57基。

公営住宅へ入居する際に保証人を不要とすることについて

- 問** 県内市町村が条例改正に取り組んでいるが読谷村の対応は
- 答** 関係課及び関係機関と連携し進めていく。
- 問** 社会福祉協議会等との協議は持ったか
- 答** 関係部署などと意見交換を行っているところで、今後社会福祉協議会と協議を行う予定。

読谷村の社会教育団体

- 問** 各団体の現状を問う
- 答** 4月時点での社会教育団体の加入団体数及び会員数は
村婦人会10団体431名。
村子ども会育成連絡協議会10団体425名。
村青年会10団体270名。
村PTA連合会7団体3629世帯。
- 問** 各団体の活動の停滞の要因をどう捉えているか
- 答** 各団体の主な課題は、各自治会団体の委員減による加盟団体の減少及び役員のみなり手不足がある。
- 問** 各団体の活性化に具体的な対策があるか
- 答** 合同ミーティングや合同研修会、個別ミーティングなどを通じて、団体運営や事業実施を支援し活動の推進を行っていく。



軽石が420メートルも漂着した長浜海岸



うえち さかえ
上地 榮

コロナワクチンの接種状況と今後は

- 答** 12月3日時点の接種状況は人口当たり約66%である。3回目の接種は、2回目接種後8ヶ月以上経過している医療従事者等については12月に実施している。集団接種については2月上旬からの実施予定となる。

ワクチン接種の電子証明書とマイナポイントについて

- 答** 電子証明書は今月中旬からマイナンバーカードとスマートフォンを活用し、専用アプリから申請すると個人で証明書が取得可能となる。マイナポイントについて、国は検討中である。

ワクチン接種担当職員等の残業時間は

- 答** 当該職員等の月平均の時間外勤務時間は約34時間である。(過労死ライン：100時間)

本村における軽石漂着の実態と対策は

- 答** 主に長浜海岸420m、瀬名波ガ一約72m、都屋漁港150m³の軽石が漂着している。対策としては、沖縄県の支援を受け、回収、処分について検討する。

楚辺児童公園前の海岸等の管理

- 答** 当区域は沖縄県の管理となっており、楚辺自治会からの要望について中部農林土木事務所と協議してきた。当区域は漁港施設区域であることから、占用許可での取り扱いを行うことで調整を進めている。

本村の小中学生の学力は(2021全国学力テストより)

- 答** 小学校で、国語においては全国平均正答率64%、沖縄県65%、本村64%、算数においては全国70.2%、沖縄県69%、本村67%でほぼ全国と同等と考えている。中学校で、国語においては全国64.6%、沖縄県60%、本村60%でおおむね全国と同等と考える。数学は、全国57.2%、沖縄県52%、本村48%で全国と9.2%の差があり課題である。

Q 村政を問う 一般質問



本会議をYouTubeで配信中





読谷漁協の移動販売車

ひが ゆきお
比嘉 幸雄**漂着軽石読谷村内の状況は 説明を求める**

答 長浜海岸420m、瀬名波ガー72m、都屋漁港150m³、ニライビーチ土のう袋200袋

問 長浜海岸アーサ、ジンベイザメ定置網など漁業への長期になる影響をどう予測し対応するか

答 漂着軽石は除去する。ジンベイザメや定置網漁業に関しては聞き取りを行う。

地産地消移動販売車の実績・展望は

答 各自治会の協力を得て運営している。福祉部門とも連携をはかっている。

読谷斎苑について、近年の核家族化、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、安置室や法事室の整備が求められている。本村の考えは

答 当該施設や国道58号沿いへの民間による安置室、法事室の整備は考えていない。

読谷村発注の公共工事について読谷給食調理場建設改修工事において、発注基準金額の1億5千万未満にもかかわらずJV発注

答 工期と技術面で基準金額以下でもJV発注になっている。

問 JVを結成するメリットとして、専門分野と建設全般の技術力向上がある。JVの大型工事に参加すると高い技術が求められる。受注した業者間で共同施工を行う中でお互いが持つ技術力を高め合う事ができる。これは多岐にわたる工事種の中でのことであり、同じ建設工事の中ではそのメリットはごく限られたものである。読谷村のJV発注は請負金額より受注機会に重きを置いたものではないか。答弁を求める

答 村内企業に多くいきわたるように発注を行っている。

問 基本どおり単体発注にして村内業者を強くすることも大事ではないか。答弁を求める

答 提起として受け、選定委員会の中で特定建設工事共同企業体発注を議論していく。



一括交付金事業

くによし まさかず
國吉 雅和**石嶺村政3期の推移を求める**

答 2010年と2021年で説明する。

人口39,476人→41,625人

年少人口 7,447人→7,131人

高齢人口 6,528人→9,197人

一般会計当初予算 104億円→150億円

村民税個人分10億8千万円→16億2千万円

村民税法人分8千9百万円→1億9百万円

固定資産税 16億9千万円→24億3千万円

地方消費税 2億2千万円→7億2千万円

財産収入 5億5千万円→7億2千万円

寄付金 6千3百万円→2億7千9百万円

積立金 42億2千万円→73億9千万円

一般会計、歳入では村民税（47%増）と固定資産税（48%増）が大きく伸張。

歳出では、村道中央残波線等の整備や大湾東地区事業等の増。子育て施策の拡充等に伴い、児童福祉費が増。公立・認可保育園を合わせると、7園580人の園児数が増加し、待機児童数は64人から9人へ減少。観光宿泊施設数26件→98件。また、10年間の主な建造物は一括交付金活用事業である。

現在の代理副村長（副村長不在）を問う

答 副村長不在時には、各部長を中心に代理決裁や職務代理等の対応を行っている。

新型コロナウイルス感染症対策について

答 3回目接種は、12月に医療従事者へ予診票を発送。2月から高齢者の集団接種をすすめる。また、3回目接種を実施しながら未接種者にも取り組む。

子育て給付金は10万円給付が望ましい

答 国の動向を注視していく（後日、12月27日口座へ10万円振り込み決定）

総合情報センター及び周辺環境整備事業は

答 3グループの提案書の審査を進めている。優先交渉権者決定後、令和4年3月に事業契約の締結を行う。



防犯灯設置で明るくなった
前島地区



うえち りえ こ
上地利枝子

波平前島地区（楚辺通信所跡地）村道への防犯灯設置進捗状況

答 波平自治会長と現場確認の上、12月までに設置完了予定（LED照明灯10基設置）。

小中学校女子トイレ生理用品無償配布について、令和4年度予算化の考えは

答 小中学校において生理用品消費量の調査協力依頼中、結果をもとに今後検討する。

コロナ禍で開催できなかった、小学校部活動指導者、父母代表と教育委員会との意見交換会の今年度開催予定はあるのか

答 今年度については厳しい。来年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催できるよう計画をしている。

発達障害児の現状（過去3年間の小中学校の特別支援学級在籍児童生徒の推移）は

答 小学校で平成30年87人であったが令和3年144人、中学校で平成30年18人であったのが令和3年43人と増加傾向である。

問 学校現場での支援体制は

答 校長のリーダーシップのもと全職員が障がいに関する理解を深め、他機関と連携を行い、指導、支援を行っている。教育委員会としては、各小中学校に特別支援員を2名ずつ配置し支援を行っている。

問 放課後はどのように過ごしているのか

答 学校からの情報によると、帰宅児童・生徒や放課後デイサービスを利用している児童・生徒がいるとのこと。

生活困窮者自立支援制度の活用状況は住宅確保給付金の支給、就労準備・支援事業、家計改善支援事業、一時生活支援事業

答 年々増加傾向にある。

問 生活困窮者支援のため、相談員を増やす考えはないか

答 職員間の情報を共有しながら、今後検討していきたい。



よみペイを使いましょう！



おおしる ゆきはる
大城 行治

石嶺村長の3期12年の成果と実績、4期目に挑戦するにあたり、読谷村のあるべき姿は

答 平成24年度より始まった沖縄振興予算を活用し、読谷飛行場跡地は大きく変貌を遂げた。認可保育園の増園、待機児童の解消に取り組んできた。さらに、スポーツコンベンションの誘致を推進し、スポーツを通したひとつづくりが育まれてきた。課題として、子どもを産み育てやすい環境の構築が必要と考える。4期目に挑戦するが、「いちゅいゆんたんざ」の精神で村民が幸せを共感できる村づくりを進めていきたい。

令和4年度予算編成について

答 引き続き新型コロナウイルス感染症対策関連の予算も計上し、子供子育て等、村の重点施策を進めながら、デジタル社会の推進にも取り組んでいきたい。「本土復帰50周年事業として」復帰・平和関連の事業を計画している。

企業版ふるさと納税について

答 令和4年1月に、企業版ふるさと納税の対象となる事業を拡大した地域再生計画の変更申請を予定しており、3月の認定を目指し取り組んでいる。

ヤングケアラーについて

答 家族の介護や兄弟の世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子供という事で認識している。本村独自の調査の必要性や調査目的・方法・その後の支援策の在り方について、今後研究していきたい。

よみペイに関するアンケートについて

答 回答総数1249人、今後69.79%が還元ポイントの継続、29.6%がチャージ時でのプレミアム付与を希望。満足度も91%以上。村内対象事業所での消費に寄与したと考える。

進めよう持続可能な村づくり



つは こきくえ
津波古菊江

2025年75歳以上が3割の福祉社会は

問 認知症高齢者数が全国で320万人。当村の状況は

答 本村の65歳以上は8983人、要介護、要支援認定者数1584人、要介護3以上428人、今後徐々に増加していくと考える。

問 高齢者世帯数が全国で1800万世帯で約7割が1人暮らしか高齢者夫婦のみ（680万世帯で1人世帯が約37%）本村の状況は

答 本村の高齢者世帯数は1558世帯、高齢者単身世帯2082世帯で徐々に増加する。

問 介護の現場で人材不足が懸念され、人材確保で離職者の防止、生産性の向上についての見解は

答 介護職の処遇改善、啓蒙活動、システムや情報技術の活用で業務の効率化を図る。

栄橋（虎地原線）を生活道路として整備、地域活性化を

問 大湾交差点方面の朝夕の交通渋滞対策として近隣の町村からの大湾シティへの利用車輦が増加している虎地原線を整備し、嘉手納高校への通学の利便性向上、大湾シティの経済効果アップ、嘉手納基地等災害時の高校生の避難道路として活用しては

答 中央残波線延伸や比謝横断線等財政や補助金等、交付状況から事業化は時間を要する。今年度渋滞対策工事が行われ、来年は比謝牧原線が完了予定で渋滞緩和が期待される。

持続可能な村づくり、古着回収始まる

問 波平公民館、楚辺公民館での回収状況と村民の反応は

答 両自治会での回収状況10月950kg、11月1740kgである。他地域からの問い合わせや搬入もあり村民の反応もよく、ゴミ減量化に向けた啓発活動を続ける事で村民へ浸透していく。



行政と連帯し、子ども達を地域で見守り育てる居場所づくりを！



しろま まゆみ
城間 真弓

政治の力で暮らしの土台を支え、心に寄り添う貧困対策を

問 新型コロナによる影響で、村民の皆さんの経済的そして精神的ダメージは今もなお私達の生活に大きな傷痕を残している。『誰ひとり取り残さない社会』を軸とした貧困対策の強化と、今後の方針とは

答 多様化、複雑化する課題に向け一人ひとりに合わせて丁寧に、各課と連帯し対応と対策を行なっていきたい。

問 現在、本村が行っている貧困対策事業は3ヶ月という期限付きだが期限を決めずに子ども達や保護者自身が安心して地域とつながれる居場所づくり（子ども食堂等）が、いま最も必要な支援ではないか

答 既存事業に加えて新たな子どもの居場所づくりを展開していく予定である。

常態化している戦術訓練と、トリイ通信施設の基地機能強化ストップへ！

問 議員になって3年間、トリイ通信施設の基地機能強化について何度もとり上げているが、戦術訓練も施設内の機能も状況は悪化の一途をたどっている。平和行政を守る立場として、米軍への強い姿勢と対応策を考えるべきではないか

村長 戦争に関する一切の行為に反対であることを常々申し上げている。これからも引き続き対応していきたい。

コロナ禍のもとで、子どもや女性の健康を守るため、学校等公共施設の個室トイレに生理用品を配置し、その環境を整えるために必要な予算を確保できないか

答 現在、小中学校にて、生理用品の消費把握に向け調査を行っている。必要であれば今後予算化を検討する。

（提起）子ども達の健やかな成長のため、学校と行政が連携し、サポート体制の強化を！



コロナに負けるな!



よなは のりお
與那覇徳雄

農業振興について

- 問** 農業生産法人に対して支援や助言等は
- 答** ニンジン反収向上目的に堆肥を還元する支援や土づくり講習会等による助言指導。
- 問** 農業生産法人の経営についてどのような見解を持っているか、今の支援で十分か
- 答** 生産技術にバラツキがあり県平均反収を下回る。関係機関と連携し営農支援を行う。
- 問** ドラゴンフルーツを戦略品目と選定し普及・支援する考えを持っているか
- 答** 土壌・環境に適しているか調査研究。

健康増進センターの協議会設置、あるいは運営連絡会議を設置しない具体的な理由は

- 答** 基本協定書に基づき「協定書や仕様書に定めのない事項等についてはその都度双方で協議して決定する」ことになっている
- 問** コロナ過の影響に伴う減収について公文書で依頼した協議の場を設けてないのは
- 答** 減収補填分を補正する考えは無い。
- 問** 村長はどのように問題解決を図る考えか
- 村長** 当事者間で意見交換し、指定管理制度等に基づいて図ってほしい

ゆんたんざソフトボール場のトイレは使用禁止になっている。受電工事完成の用途は

- 答** 電力供給工事について、1月ソフトボールキャンプに向けて受電に鋭意努力する
- 問** 審判・記録員が控えるパーゴラ設置は
- 答** 放送室は審判控・記録室を兼ねて設置。
- 問** 反対側B球場のパーゴラ設置の考えは
- 答** スペースを含め建設できるか検討する。

村道渡慶次～儀間線の安全対策の取組みは

- 答** 路面に文字表記等を行ない注意喚起
- 問** 渡慶次10～15番地の間の安全対策は
- 答** 外側線の設置と安全対策等を検討する
- 問** 県道6号線と村道波平3号線が交差する横断歩道に横断旗が設置できないか
- 答** 道路管理者等の関係機関と調整を行う



読谷村地域通貨ポイント



まつだ まさひこ
松田 正彦

「新しい生活様式」地域通貨（よみパイ）事業で、村民はどう評価したか

- 問** 地域通貨よみパイの予算額と、村民がチャージした新規購入金額はいくらか
- 答** 事業費は、1億765万8000円で、よみパイ運営費で、5707万円を計上した。
- 問** 費用対効果で、経済効果がわかるか
- 答** 還元ポイントも含め約2億2800万円が村内加盟店舗で利用された。前年度のよみパイ商品券と還元ポイントを付与したので、総額3億3000万円が今年度8月31日までに村内で利用されたと推定される。
- 問** チャージ可能施設件数と手数料金額は
- 答** チャージ可能施設で、読谷村観光協会・体験王国むら咲むら・おきなわポークビレッジの事務経費総額240万円である。
- 問** よみパイ加盟店と、3割還元店舗数・業種別に3割還元店舗数が出せるか
- 答** 加盟店262件のうち217件で利用されており、利用総額2億51万2806万円である。感染症予防対策推進宣言店では213件中183件で利用され、利用総額1億844万5799円、全加盟店のうち92%を占める。業者別の割合は、小売・物販43.7%、飲食19.6%、観光9.7%となっている。
- 問** 村民の評価と、執行部の事業評価は
- 答** よみパイに関する利用者へアンケートの結果、回答者1142件のうち91.2%がとても良いという評価が出ている。読谷村商工会より、村内事業所支援の目的からも有効であったと評価された。
- 問** 今後の事業継承をどう考える
- 答** 「新しい生活様式」対応支援事業における地域通貨よみパイの運用については、今後の国による経済対策や感染症対策の施策の動向を踏まえながら検討する。



座喜味城跡周辺の松林

かみや かいすけ
神谷 嘉栄

緊急事態における防犯体制

問 11月に小学校近隣の民家で強盗事件が発生。不測の事態に連絡、連携の対応はどうか

答 嘉手納署より連絡を受け緊急会議後各課より、学校・保育所・公民館へ連絡。併せて村ホームページや公式LINEでの広報、防災無線やFMよみたんの放送による注意喚起を行った。

新型コロナウイルス感染症対策

問 2回目の接種を終えた12~15歳、16~64歳、65歳以上と対象者全体の接種率を求める

答 12月3日時点、12~14歳が54.2%、15~64歳が71.7%、65歳以上が90.6%、対象者全体で75.7%。

問 3回目のワクチン接種の必要性と接種対象者及び接種開始時期の説明を求める

答 感染予防効果は時間とともに低下することが報告され、感染拡大防止の観点から3回目の追加接種が必要だと認識している。対象者は2回目接種から8ヵ月以上経過した医療従事者が12月からの開始となっている。

漂着した軽石問題

問 出漁を自粛せざるを得ない状況もあったようだが、漁業従事者への方策を伺う

答 軽石の対策費として国・県の予算措置が行われ、オイルフェンスや汚濁防止膜の設置等で漁港内への流入を止めることが考えられる。

鳥インフルエンザ

問 農林水産省は警戒を呼び掛けたが、本村は

答 沖縄県中央家畜保健衛生所から連絡・通知、周知の案内を基に注意喚起などを行う。

琉球松の松くい虫被害

問 今後はどのような対処策を講じるのか

答 各施設の管理による予防保全対策としての樹幹注入、被害木の伐採を行う予定。

【提言】ヤチムンを登り窯で焼く際、琉球松は貴重な火力源だが、松くい虫の被害木は役に立たなくなる。伝統工芸を継承する観点からも一刻も早い方策を切望する。

渡具知ビーチリゾートホテル
(仮称)住民説明会しるま いさむ
城間 勇

松くい虫の防除対策について

答 役場敷地内被害はない。樹幹注入は実施している。役場前駐車場南側被害10本。樹幹注入は行っていない。伐採の予定。座喜味城跡公園8本の被害伐採終了、樹幹注入は行っていない。座喜味城跡内5本の被害伐採予定。エリアを分けて樹幹注入を行っている。泊城公園被害3本伐採処理済み。樹幹注入は検討。村道中央残波線被害1本伐採済み。喜名4号線被害はない。樹幹注入は3年に1回実施している。

渡具知海岸沿いの遊休地への温泉リゾートホテル建設について

問 渡具知公民館で行われた渡具知ビーチリゾートホテル（仮称）開発に対する住民説明会への出席者総数と住民参加者は何名か

答 出席者総数78名で住民参加者は64名

問 ビーチリゾートホテルの竣工日途は

答 竣工は2025年くらいを予想

問 海岸の囲いこみや海浜利用はあるか

答 村民を含め誰でも海浜を活用できることから囲いこみはない。海浜の利用をしての運営はしない。

問 地元の農産物を使う予定は

答 地元で採れた野菜等は活用したい。

問 宇座ビーチの海岸開発に関しては近年、海亀の産卵が多く見られる。渡具知海岸についてもリゾート開発村民の親水空間、海亀の産卵場など調和のとれた整備を求めるがどの様に考えているか

答 宇座自治会はリゾートホテルも連携し秩序ある海岸管理を行い、毎年、読谷漁協との連携でホテル側が海亀の放流も実施、近年では海亀の産卵も多く見られる。渡具知自治会からのリゾート開発で地域活性化と海浜環境保全の両面から調和のとれた開発の望める場所だと思っている。



軽石が漂着した長浜港

いさ しんぶ
伊佐 眞武**がん検診について**

問 コロナ禍の中、がん検診の受診率はどうだったのか。また早期発見、早期治療のための受診率向上に向けての対策を問う

答 集団検診は感染症対策を講じながら実施したが、緊急事態宣言が発令され中止になった事もあった。受診率は5項目のがん検診平均で、令和元年度12.5%、令和2年度10.2%。

問 1%を人数に換算すると何人か

答 5項目のがん検診平均で143人。

問 受診勧奨の方法として、ハガキ、電話、村広報、ホームページ等で周知しているが、土・日や夕方6時以降の電話案内、または音声ガイダンスの活用はどうか

答 特定検診を通した保健指導など全体的に取り組む中で有効かどうか調査したい。

軽石被害対策について

問 本村の漂着状況は

答 特に多いのは長浜海岸で約420m。瀬名波ガー約72m。都屋漁港150m³。ニライビーチ土のう袋200袋、他の海岸が少量漂着している。対策としては、環境省の補助金を活用できることから県の支援を受け、漂着状況を鑑み軽石の回収、処分等について検討していく。

無量定額診療事業について

問 同事業は生計困難者を対象として、医療機関で無料または低額で医療を受ける事業である。県内でも8ヶ所で実施されており本村診療所でも実施を検討できないか

答 社会福祉事業としての基準があり、現在の診療所ではその要件を満たしていない。

問 村民への周知に力を入れるべきでは

答 窓口で個別に相談がある場合、実施している医療機関につないでいる。

健康増進、コミュニティ向上で
ゲートボールを楽しむ！やましろう せい
山城 正輝**米軍機の低空飛行を中止させるべき⇔村長…増えている。県等と抗議する**

問 宜野湾水筒落下、青森燃料タンク落下、私の調査でも12月6日以降12月14日まで9日で6回の低空飛行があった。ゆゆしき事だ

“平和の蝶オオゴマダラを飛ばそう”⇔食草を苗畑から配布することは難しい！

問 苗畑従事者体制が元にもどったなら、花壇登録者を中心に配布した方がよい

村ゲートボール協会へ助成金を⇔4月から難しいが相談したい！

問 助成金を支給している団体はどこか

答 体協506万円、ソフトボール協会、サッカー協会、ラグビー協会、少年野球支部、パークゴルフ協会それぞれ7万5千円。

問 ゲートボール協会、27年間チャリティー大会を主催し、寄附をしてきた。かつては、読谷まつり親子三代ゲートボール大会、JA大会、交通安全友の会等数多くの大会を準備し運営してきた。当然助成し今後の活動を支援すべきだ

座喜味前田地区宅地化を⇔農用地利用として引き続き利用したい！

問 農用地除外5条件（8年経過、地主に他に宅地なし、事業に影響なし等）に近い遠隔地からはずしていくべきではないか。（周囲は、家が増えてきた。）

儀間西原173番地を宅地化すべきこと⇔農用地として引き続き利用！

問 事業導入の時に10年後は家が建てられると言われ、現在周囲には家が建っている、除外5条件にも合致すると考えられる。未来永劫に自分の土地に家が建てられないのは大問題ではないか

答 5条件には合致しないと考えられる。

**座喜味城通り花壇管理⇔引き続き継続
村長…花一杯運動、高く評価、深く感謝！**



休業施設の今後を問う

やまうち まさのり
山内 政徳

問 読谷村の施設で現在使用していない施設はどのくらいあるのか。それらの施設の利用についての検討状況はどうなっているか

答 1ヶ所で読谷村共販センター。村内の民間企業と同施設の再活用や修繕費用など調整・協議を行っている。

問 報道によると、コロナ禍の中、健診受診率が低下しているとの事だが、本村の状況はどうなっているのか。対策の検討は

答 令和元年度が40.8%、2年度31.1%となり約10%の減少。今年度の集団検診はあと1回を残すのみとなり個別検診は3月まで受診できる。未受診者に対しては、ハガキ送付等を実施し、受診勧奨に努めている。

問 国保加入者に対して所得の面から考慮すべき人間ドックと脳ドックの選択でもいいのではないか

答 国民健康保険における人間ドック脳ドックの費用助成を実施していたが、現在は脳ドック等を受けた方に対し、特定健康診査等の費用助成で対応している。

問 都屋漁港を始め村内の軽石被害はどうなっているか。対策と被害の補償はどうなっているか

答 流入対策としては汚濁防止膜設置等が考えられる。国や県の補正予算が計上される予定なので注視していく。

【提言】 村内の漁協、定置網、ジンベイザメ、ダイビングショップ、ガラスボート等の被害の保証など全力で頑張ってもらいたい

問 本村におけるワクチン接種3回目のスケジュールはどうなっているか。村内2回目の接種状況は

答 2回目接種から8カ月以上経過した医療従事者等に順次予診票を送付している。2月上旬から開始予定。



長浜湾の軽石の状況

とうま りょうじ
當間 良史

軽石による被害は

問 小笠原諸島近海で発生した海底噴火による軽石の被害を問う

答 広い範囲での漂流が確認されており特に長浜海岸が420m、瀬名波ガー72m、都屋漁港150m³、ニライビーチが土のう袋200袋他の海岸にも少量の漂着が見られる。

問 軽石の除去をどう考えているか

答 県の支援を受け漂着の状況を鑑み回収・処分等を検討していく。

問 観光業および漁業などへの影響は

答 県内で修学旅行のキャンセルが発生している。漁業は県北部に比べ影響はないが、軽石の状況を見ながら創業しており、マリン業者は営業を自粛する業者もあった。

読谷村に特化型の大学誘致を！

問 現在多くの子ども達が日々スポーツに汗を流し頑張っている中、スポーツで進学を考えた場合、専門の大学が県外にしか無く家族への負担が大きい。また、農家の担い手が不足している中、そこで本村にスポーツと農業に特化した大学を誘致しては

答 今のところスポーツや農業に特化した大学を誘致する用地確保や計画はないが、大学関係者から立地を希望する声があれば条件や内容により推進していきたい。

鳳バスの運営改善を

問 運行が開始されてから12年を迎える鳳バスは、交通空白地帯の村民の交通手段を確保するためと認識しているが採算性は

答 公共交通機関空白地帯の村民の交通手段を確保し地域の実情に即した運営を行う

問 現在の民間委託から独自の運営に切り替えて運営赤字を抑えては

答 現在までに必要に応じてルートの変更や新規の停留所設置などを行ってきた。村独自の運営は考えていない



福祉事業所の農地で、生産拡大と技術習得に取り組む利用者。今後一層の農業、福祉の連携を期待する。



なかま あさお
仲真 朝雄

産業づくりの推進 産業の振興
「営農知産知笑推進課」農福連携など多岐にわたる課題に取り組んでいると拝察する

- 問** 地産地消の定義、意義を求める
- 答** 地元で生産されたものを地元で消費。消費者と生産者を結びつける。
- 問** 農福連携の意義、具体的取り組みを求める
- 答** 農業での障がい者、高齢者、生活困窮者の雇用を創出する事により、農業分野での様々な課題を解消できると期待される社会的に重要な取り組みである。事例として、農林水産物加工センターの管理を福祉事業所に委託、村内農産物の加工を行なっている。
- 問** 学校給食の地産地消 現状と事例、課題は
- 答** 平成18年度より村産の農水産物を小中学校、保育所へ給食食材として供給している。昨年度は6トン余りの農産物13品目、加工品10品目を供給。課題としては、学校給食の数量、品目に対し安定供給が確立されていない
- 問** 飲食店と農業者を結ぶ仕組みは
- 答** ゆんた市場で新鮮野菜を販売、大口受注は生産者へ発注し販売している。
- 問** 無農薬野菜の栽培農家数、出荷量は
- 答** 現段階では把握していない。
- 問** 庁舎1階カフェを地産地消の店と位置付け農産物、加工品販売を拡大できないか
- 答** 来庁者にアピールするため検討したい
- 問** 地産地消の拡大に向け地域プロデューサー的役割が求められるが、村長はどう考えるか
- 村長** いま専門性のある人材が求められている。ふるさと納税企業版などによるヘッドハンティングなどネットワークを活かし人材を確保したい。



漂着ゴミから豊かな自然環境をまもろう



まつだ まさくに
松田 昌邦

物価高に伴う小中学校給食への影響は

答 現在のところ影響はない。栄養バランスを考えた給食提供に努める。1食当たり小学校260円、中学校280円。

台湾ハブの生態及び実情と対策は

答 毒性がハブより1.2倍高く捕獲数は本年10月現在33匹。長浜、座喜味、親志地域で確認されており情報発信に努めていく。

3歳児健診項目と弱視の早期発見につながる「屈折検査」の項目があるか

答 問診、身体計測、尿検査、目と耳の検査を実施している。現時点で「屈折検査」は行っていない。

2020年学校保健統計調査より視力1.0未満の傾向と「肥満傾向児」や「痩身傾向児」の増の要因は

答 視力1.0未満は中学校では増加なく小学校は微増となっている。肥満傾向児の要因としてスマホやゲーム機の普及で身体を動かさずに遊べる環境や深夜までの使用による短い睡眠時間が要因の一つと考えられる。「痩身傾向児」は食生活の偏りや成長期の影響も考えられる

海岸線漂着ゴミの取り扱いについて処理内容と費用の実情及び課題は

答 木くず、漁網やウキ等の漁具（本村では使用なし）、ボランティア収集ゴミ、村指定管理ビーチの清掃ゴミ等で令和2年度処理費用は1,003,350円で増加傾向にある。課題は排出者の特定、抑止対策の難しさがある。

古布回収について団体と活動内容は

答 令和3年10月より波平自治会、楚辺自治会で拠点回収を行っている。

古布回収とリサイクルなどの循環型社会を目指す連絡協議会の立ち上げは

答 持続可能な開発目標に掲げる具体的対策になり関係団体、各種団体と協力し取り組む

意見書・抗議決議

第511回臨時議会（令和3年10月7日） 決議第8号・意見書第12号

◎ 米陸軍トリイ通信施設での米軍ヘリによる吊り下げ訓練に対する抗議決議・意見書

賛成多数で可決!

件名	議決結果	議席																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		與那覇 徳雄	仲 眞 朝雄	大 城 行 治	山 内 政 徳	上 地 利 枝 子	當 間 良 史	津 波 古 菊 江	城 間 勇	山 城 正 輝	松 田 昌 邦	長 濱 宗 則	比 嘉 幸 雄	神 谷 嘉 栄	上 地 榮	松 田 正 彦	伊 佐 眞 武	城 間 眞 弓	國 吉 雅 和	伊 波 篤
決議第8号・意見書第12号	可 決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	※

※議長は採決に参加しません

第514回臨時議会（令和4年1月13日） 決議第1号・意見書第1号

◎ 米軍基地における新型コロナウイルス感染症クラスター発生に対する抗議決議・意見書

全会一致で可決!

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の見地から、米軍及び関係機関に対し以下の対策を講じるよう強く要請する。

記

- 1 米軍基地内の軍人・軍属の外出は感染が収束するまでの間、制限すること
- 2 日本の検疫を含む国内法を在日米軍にも適用するよう日米地位協定を改定すること
- 3 米軍基地内における感染症拡大防止策を徹底強化すること

はいさい！ ヨミタンチュ！ アピール コーナー

読谷盆栽同好会は昭和55年に会員9名により創立されて以来、着実に発展の一途を辿り、現在、会員数23名にまで増えました。本会の実績として特筆すべきは、日本最古の歴史を有し、最も格調高い国風盆栽展において本会会員の津波古正吉氏が10回連続入選を果たしたことは県内でもまれなことから本会の誇りであり、会員の目標です。

盆栽は日本で生まれ、日本で育った古来伝統芸術であり、今や国際化時代となり老若男女を問わず愛好家が増えています。

今後も盆栽のメツ力読谷にふさわしい観る者の心をなごます盆栽作りに励み、読谷祭りや文化祭などの地域社会文化の高揚に寄与したいと思えます。



▲年1回、親睦を兼ねての北部視察

今年で96回目を迎える国風盆栽展は、国内で最も歴史と権威のある盆栽展であることから盆栽界の甲子園にも喩えられ、同展に入賞することが盆栽愛好家の目標です。

本会員の日本国風盆栽展受賞歴

津波古正吉氏	第75回～第84回	10年連続入選
古謝世徳氏	第88回～第95回	7年連続入選
山城宏氏	第77回、第80回	2回入選
城間勇氏	1回	入選
池原文栄氏	1回	入選

りっかりっか読谷村議会

12月定例会での傍聴者は、延べ43名でした。

令和4年3月定例議会は3月2日(水)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225

表紙説明

私の自慢のブーゲンビリア、30年以上になるこの盆栽は、夏は1日2回、冬は1回水やりをしている。年に2回、満開の花を咲かせる。

花びらに見える部分は実は苞(ほう)という葉の一部です。ブーゲンビリアの花言葉は情熱です。

読谷盆栽同好会の会員の情熱で、盆栽を楽しんでいます。同会会長：玉城義雄